



江戸末期の建造とされる絞商の主屋前にての説明



有松街道における有松の伝統的建築物前にて



代表的な絞商の主屋の特徴で有松では珍しい
“うだつ”の上がる家



歌川広重、東海道五十三次鳴海(名物有松絞)

絞商の豪壮な主屋が見られる有松街道にて



絞商の豪壮な主屋をはじめとした数多くの建物が



藍の草花、現在は徳島県の吉野川にて生育



色々な絞り商品、どれを見ても見事に作られている



大村振甫地域長(今回、幹事役)の説明と点呼



ガイドさん、左・宮下幸三氏、右・武田氏



有松で唯一の食事処「寿限無(じゅげむ)」茶屋にて
久連石氏、山本氏、加藤さん、右手前・片山氏



左手より杉本氏、大澤氏、杉本氏の前、波多野さん



背中の方は大村氏、向かい側、山本氏、安間氏